

平成27年度香川大学入学者選抜における実施教科・科目等について

平成26年 5月
香川大学

平成27年度香川大学入学者選抜における実施教科・科目等について、平成26年3月に公表しましたが、検討中であった教育学部について、次の内容になる予定です。

詳細については、「平成27年度香川大学入学者選抜要項」（7月初旬公表予定）、「平成27年度学生募集要項」（推薦入試は8月、一般入試は11月公表予定）でご確認ください。

なお、文部科学省における審査の結果、変更が生じる場合があります。

1. 一般入試〔前期日程・後期日程〕

【教育学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
学校教育教員養成課程	幼児教育コース・小学校教育コース	前期日程	国語 『国語』 必須 地理 〔「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」〕 公民 〔「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」〕 理 (1)〔「物基」、「化基」、「生基」、「地学基」〕から2科目 (2)〔「物」、「化」、「生」、「地学」〕から1科目 (3)〔「物基」、「化基」、「生基」、「地学基」〕から2科目 並びに〔「物」、「化」、「生」、「地学」〕から1科目 (4)〔「物」、「化」、「生」、「地学」〕から2科目 から1科目 又は 2科目 から3科目 (理科で(1)のいずれか)	外国語 『国語』 外国語 『英<リーディング・ライティング>』 理 『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 〔「物基・物」、「化基・化」、「生基・生」、「地学基・地学」〕から1科目選択 〔「音楽」、「美術」、「保健体育」〕から選択 から1教科 〔1教科1科目〕	
		後期日程	数 『数Ⅰ・数A』 『数Ⅱ・数B』 外 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕 必須 から1科目 から1科目 実技検査 〔「音楽」、「美術」、「保健体育」〕から選択	その他 小論文	
	中学校教育コース	前期日程	A系	国語 『国語』 外国語 『英<リーディング・ライティング>』 から1教科 〔1教科1科目〕	
		後期日程	B系	数 『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 〔「物基・物」、「化基・化」、「生基・生」、「地学基・地学」〕から1科目選択 〔「音楽」、「美術」、「保健体育」〕から選択 から1教科 〔1教科1科目〕	
人間発達環境課程	前期日程	C系	外国語 『国語』 外国語 『英<リーディング・ライティング>』 理 『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 〔「物基・物」、「化基・化」、「生基・生」、「地学基・地学」〕から1科目選択 から1教科 〔1教科1科目〕		
	後期日程		その他 小論文		

(注) 【学科等名】、【学力検査等の区分】欄

学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は、A、B、Cの3系列に募集します。

系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民については、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目まで、「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目までの成績を用います。
- 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。
●地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。
●地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。
●理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
●地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
ア. 地歴、公民の第1解答科目
イ. 地歴、公民の第2解答科目
ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計) } イ～エのうち高得点順に2科目
エ. 理科の基礎を付さない科目 } (ウを用いる場合は3科目)
また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、別表(7～8ページ)のとおり経過措置を講じます。

【個別学力検査等】欄

- 学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は、A系が国語又は外国語、B系が数学又は理科、C系が実技検査(「音楽」、「美術」、「保健体育」から1教科選択)です。
- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目)
- 『国語』 「国語総合」に「国語表現Ⅰ」を加えた範囲から出題します。
- 数学 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は(場合の数と確率)、「図形の性質」を、「数B」は(数列)、「ベクトル」を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
なお、旧教育課程履修者に対しては、不利にならないよう経過措置を講じます。
- 外国語 『英語』 「リーディング」、「ライティング」の2科目を合わせた範囲から出題します。
- 理科 『物基・物』は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は、「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は、「地学基礎」と「地学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
なお、旧教育課程履修者に対しては、不利にならないよう経過措置を講じます。
- 小論文 広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【法学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 法学科	前期日程	国	『国語』	必須 数 外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 『英(リーディング・ライティング)』 } から1教科 [1教科1科目]
		地歴	(『世B』, 『日B』, 『地理B』) から1又は2科目		
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目		
		数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目		
			(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目		
	後期日程	理	(『物基』, 『化基』, 『生基』, 『地学基』) から2科目又は (『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目	その他	小論文
外		(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 [5教科7科目又は6教科7科目(理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)]			

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)
- 「工業数理基礎」, 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 基礎を付した科目(2科目の合計)	}	ア又はイのうち高得点の科目(アを用いる場合は2科目)
イ. 基礎を付さない科目		

 また、理科について、指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、別表(7～8ページ)のとおり経過措置を講じます。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は, 問うこともあります。
なお, 旧教育課程履修者に対しては, 不利にならないよう経過措置を講じます。
- 外国語 『英語』 「リーディング」, 「ライティング」の2科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【経済学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 経済学科 経営システム 学科 地域社会 システム学科	前期日程	国	『国語』 必須	外	『英<リーディング>・ライティング』 〔1教科1科目〕
	後期日程	数	『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』 から1科目 『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『工』、『簿・会』 から1科目 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1科目 〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕	その他	小論文

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合に、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
なお、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。
 - 理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目 イ. 地歴、公民の第2解答科目 ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計) エ. 理科の基礎を付さない科目	}	・・・・ 1科目 イ～エのうち高得点順に2科目 (ウを用いる場合は3科目)	}	3科目(ウを用いる場合は4科目)
---	---	---	---	------------------
- また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、別表(7～8ページ)のとおり経過措置を講じます。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。
- 外国語 『英語』 「リーディング」、「ライティング」の2科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く経済・社会・文化一般等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【医学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
医学科	前期日程	国	『国語』	必須	数 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 『物基・物』、『化基・化』、『生基・生』 『英<リーディング>・ライティング』
		地歴	(「世B」,「日B」,「地理B」)	から1科目	
		公民	(「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』)		
	数	『数Ⅰ・数A』	必須	から1科目 から2科目 から1科目	
理	(『数Ⅱ・数B』,「工」,『簿・会』,『情報』)	必須			
後期日程	外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目	その他	面接 小論文 面接
看護学科	前期日程	国	『国語』	必須	その他 面接
		地歴	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」)	から1 又は 2科目	
		公民	(「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』)		
	理	(1)「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」 から2科目 (2)「物」,「化」,「生」,「地学」 から1科目 (3)「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」 から2科目 並びに「物」,「化」,「生」, 「地学」 から1科目 (4)「物」,「化」,「生」,「地学」 から2科目	(1)~(4)の いずれか	から3科目 (理科で(1) 又は(3)を 選択する場 合は4科目)	
後期日程	数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』)	から1科目	その他 面接	
外	(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,「工」,『簿・会』,『情報』)	から1科目			
		(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目		
			[5教科7科目又は6教科7科目(理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)]		

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

(共通)

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目,『簿・会』・・・1科目)
- 「工業数理基礎」,『簿記・会計」,『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、別表(7~8ページ)のとおり経過措置を講じます。

(医学科)

地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。

なお、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

(看護学科)

- 地歴においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)~(4)のいずれかを選択してください。
 - 理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 - ア. 地歴、公民の第1解答科目
 - イ. 地歴、公民の第2解答科目
 - ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)
 - エ. 理科の基礎を付さない科目
- また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

【個別学力検査等】欄

(医学科)

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目,『物基・物』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率),(図形の性質)を,「数B」は(数列),(ベクトル)を出題範囲とします。
ただし,中学校数学,あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は,問うこともあります。
なお,旧教育課程履修者に対しては,不利にならないよう経過措置を講じます。
- 理科 『物基・物』は,「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は,「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は,「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
なお,旧教育課程履修者に対しては,不利にならないよう経過措置を講じます。
- 外国語 『英語』 「リーディング」,「ライティング」の2科目を合わせた範囲から出題します。

【工学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
安全システム 建設工学科	前期日程	国	『国語』	必須	数 理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 『物基・物』、『化基・化』 から1科目 から1科目 〔1教科1科目〕
		地歴 公民	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) (『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)	から1科目		
	後期日程	数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『情報』)	から1科目 から1科目	その他	小論文
		理 外	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から2科目 から1科目 〔5教科7科目〕		
電子・情報 工学科	前期日程	国	『国語』	必須	数 理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 『物基・物』、『化基・化』 から1科目 から1科目 〔1教科1科目〕
		地歴 公民	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) (『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)	から1科目		
知能機械 システム工学科	後期日程	数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『情報』)	から1科目 から1科目	その他	小論文
材料創造 工学科		理 外	(『物』) (『化』, 『生』, 『地学』) (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	必須 から1科目 から1科目 〔5教科7科目〕		
	後期日程	国	『国語』	必須	その他	小論文
		地歴 公民	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) (『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)	から1科目		
	後期日程	数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『情報』)	から1科目 から1科目	その他	小論文
		理 外	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から2科目 から1科目 〔5教科7科目〕		

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程（平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修した受験者に対しては、別表（7～8ページ）のとおり経過措置を講じます。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし, 中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は, 問うこともあります。
なお, 旧教育課程履修者に対しては, 不利にならないよう経過措置を講じます。
- 理科 『物基・物』は, 「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は, 「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
なお, 旧教育課程履修者に対しては, 不利にならないよう経過措置を講じます。
- 小論文 小論文は, 本学部学生に求められる素質や能力としての読解力, 論理的思考力及び表現力等を評価します。素材は, 特定の教科にかたよらず, 広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

【農学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
応用生物 科学科	前期日程	国	『国語』	必須	数	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』、『化基・化』, 『生基・生』から1科目) [1教科1科目]
		地歴	(『世A』,『世B』,『日A』,『日B』,『地理A』,『地理B』)	から1科目		
公民		(『現社』,『倫』,『政経』,『倫・政経』)				
数		(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』)	から1科目			
理		(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『工』,『簿・会』,『情報』)	から1科目			
外	(『物』,『化』,『生』,『地学』)	から2科目				
		(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目	[5教科7科目]		
	後期日程	数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』)	から1科目	その他	面接
		(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『工』,『簿・会』,『情報』)	から1科目			
理		(『物』,『化』,『生』,『地学』)	から2科目			
外		(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目	[3教科5科目]		

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
 なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』)・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 「工業数理基礎」、『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
 ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、別表(7～8ページ)のとおり経過措置を講じます。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
 なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目)
- 数学
 「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
 「数A」は(場合の数と確率),(図形の性質)を,「数B」は(数列),(ベクトル)を出題範囲とします。
 ただし,中学校数学,あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は,問うこともあります。
 なお,旧教育課程履修者に対しては,不利にならないよう経過措置を講じます。
- 理科
 『物基・物』は,「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
 『化基・化』は,「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
 『生基・生』は,「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
 なお,旧教育課程履修者に対しては,不利にならないよう経過措置を講じます。

別表 旧教育課程履修者に対する経過措置

1. 大学入試センター試験

大学入試センター試験の数学及び理科について、旧教育課程（平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修した受験者に対しては、次のとおり経過措置を講じます。

学部名	学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			
			教科	科目名等		
教育学部	学校教育教員養成課程 人間発達環境課程	前期日程 後期日程	地歴 公民 理	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」) (1)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (3)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 並びに(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (4)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目 (5)[(「理科総合A」,「理科総合B」,「物I」,「化I」, 「生I」,「地学I」) から1又は2科目]	から1 又は2科目 (1)~(5)の いずれか	から3科目 (理科で(1)又 は(3)を選択 する場合は4 科目)
			数	(「数I・数A」又は「旧数I・旧数A」) (「数II・数B」,「工」,「簿・会」,「情報」,「旧数II・旧数B」)	必須 から1科目	
法学部	(昼間コース) 法学科	前期日程 後期日程	数	(「数I」,「数I・数A」,「旧数I」,「旧数I・旧数A」) (「数II」,「数II・数B」,「工」,「簿・会」,「情報」,「旧数II・旧数B」)	から1科目 から1科目	
			理	(1)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (3)[(「理科総合A」,「理科総合B」,「物I」,「化I」,「生I」, 「地学I」) から1科目]	(1)~(3)の いずれか	
経済学部	(昼間コース) 経済学科 経営システム学科 地域社会システム学科	前期日程 後期日程	地歴 公民 理	(「世B」,「日B」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」) (1)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (3)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 並びに(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (4)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目 (5)[(「理科総合A」,「理科総合B」,「物I」,「化I」, 「生I」,「地学I」) から1又は2科目]	から1 又は2科目 (1)~(5)の いずれか	から3科目 (理科で(1)又 は(3)を選択 する場合は4 科目)
			数	(「数I」,「数I・数A」,「旧数I」,「旧数I・旧数A」) (「数II」,「数II・数B」,「工」,「簿・会」,「情報」,「旧数II・旧数B」)	から1科目 から1科目	
医学部	医学科	前期日程 後期日程	数	(「数I・数A」又は「旧数I・旧数A」) (「数II・数B」,「工」,「簿・会」,「情報」,「旧数II・旧数B」)	必須 から1科目	
	看護学科		理	(「物」,「化」,「生」) から2科目 又は [(「物I」,「化I」,「生I」) から2科目]		
工学部	安全システム建設工学科	前期日程 後期日程	地歴 公民 理	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」) (1)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 (2)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (3)(「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」) から2科目 並びに(「物」,「化」,「生」,「地学」) から1科目 (4)(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目 (5)[(「物I」,「化I」,「生I」) から1又は2科目]	から1又は 2科目 (1)~(5)の いずれか	から3科目 (理科で(1)又 は(3)を選択 する場合は4 科目)
			数	(「数I」,「数I・数A」,「旧数I」,「旧数I・旧数A」) (「数II」,「数II・数B」,「工」,「簿・会」,「情報」,「旧数II・旧数B」)	から1科目 から1科目	
	電子・情報工学科 知能機械システム工学科 材料創造工学科	前期日程	数	(「数I」,「数I・数A」,「旧数I」,「旧数I・旧数A」) (「数II」,「数II・数B」,「工」,「情報」,「旧数II・旧数B」)	から1科目 から1科目	
			理	(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目 又は [(「理科総合A」,「理科総合B」,「物I」,「化I」,「生I」, 「地学I」) から2科目]	必須	
農学部	応用生物科学科	前期日程 後期日程	数	(「数I」,「数I・数A」,「旧数I」,「旧数I・旧数A」) (「数II」,「数II・数B」,「工」,「簿・会」,「情報」,「旧数II・旧数B」)	から1科目 から1科目	
			理	(「物」,「化」,「生」,「地学」) から2科目 又は [(「物I」,「化I」,「生I」,「地学I」) から2科目]		

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

(共通)

- 1 [] 内記載のものは、旧教育課程履修者のみ選択することができます。
- 2 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数I・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)

(教育学部)

- 1 地歴及び公民については、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目まで、「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目までの成績を用います。
- 2 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)、(4)、(5)のいずれかを選択してください(ただし、(5)は2科目受験に限る。)
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(5)のいずれかを選択してください。
 - 理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 - ア. 地歴、公民の第1解答科目
 - イ. 地歴、公民の第2解答科目
 - ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)
 - エ. 理科の基礎を付さない科目イ～エのうち高得点順に2科目
(ウを用いる場合は3科目)また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)又は(5)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 3 「工業数理基礎」、『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

(法学部)

- 1 「工業数理基礎」、『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 2 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 - ア. 基礎を付した科目(2科目の合計)
 - イ. 基礎を付さない科目ア又はイのうち高得点の科目
(アを用いる場合は2科目)
また、理科について、指定した科目から基礎を付さない科目(又は旧教育課程の科目)を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

(経済学部)

- 1 地歴及び公民について2科目受験している場合に、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
なお、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 2 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)、(4)、(5)のいずれかを選択してください(ただし、(5)は2科目受験に限る。)
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(5)のいずれかを選択してください。
 - 理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 - ア. 地歴、公民の第1解答科目
 - イ. 地歴、公民の第2解答科目
 - ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)
 - エ. 理科の基礎を付さない科目イ～エのうち高得点順に2科目
(ウを用いる場合は3科目)また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)又は(5)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

(医学部医学科)

- 1 「工業数理基礎」、『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

(医学部看護学科)

- 1 地歴においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 2 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)、(4)、(5)のいずれかを選択してください(ただし、(5)は2科目受験に限る。)
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(5)のいずれかを選択してください。
 - 理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 理科で(5)を選択する場合に、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 - ア. 地歴、公民の第1解答科目
 - イ. 地歴、公民の第2解答科目
 - ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)
 - エ. 理科の基礎を付さない科目イ～エのうち高得点順に2科目
(ウを用いる場合は3科目)また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)又は(5)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 3 「工業数理基礎」、『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

(農学部)

- 1 「工業数理基礎」、『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

2. 個別学力検査等

個別学力検査等の数学及び理科について、旧教育課程を履修した受験者に対しては、不利にならないよう経過措置を講じます。

2. 推薦入試〔大学入試センター試験を課する推薦入試〕

学部・学科等名		学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
法学部 (推薦Ⅱ) 法学科	(昼間コース)	推薦入試	国	『国語』	必須	個別学力検査は課さない
			数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目	2科目 } から1教科	
			外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 [2教科3科目(数学の場合)又は2教科2科目(外国語の場合)]		
経済学部 (推薦A・推薦B)	(昼間コース)	推薦入試	国	『国語』	必須	個別学力検査は課さない
			数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『簿・会』) から1科目		
			外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 [3教科4科目]		
医学部 医学科		推薦入試	数	『数Ⅰ・数A』	必須	その他 小論文, 面接
				『数Ⅱ・数B』	必須	
			理	(『物』, 『化』, 『生』) から2科目		
工学部 (推薦Ⅱ)	安全システム建設工学科 電子・情報工学科 知能機械システム工学科 材料創造工学科	推薦入試	数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『情報』) から1科目		個別学力検査は課さない
			理	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目		
			外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 [3教科4科目]		

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

《共通》

『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例: 『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)

《法学部》

- 「工業数理基礎」, 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学, 外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。
- 数学について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、次のとおり経過措置を講じます。なお、〔 〕内記載のものは、旧教育課程履修者のみ選択することができます。

数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』, 『旧数Ⅰ』, 『旧数Ⅰ・旧数A』) から1科目
(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『簿・会』, 『情報』, 『旧数Ⅱ・旧数B』) から1科目 } 2科目 } から1教科
外 (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目

《経済学部》

- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、次のとおり経過措置を講じます。なお、〔 〕内記載のものは、旧教育課程履修者のみ選択することができます。

数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』, 『旧数Ⅰ』, 『旧数Ⅰ・旧数A』) から1科目
(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『簿・会』, 『旧数Ⅱ・旧数B』) から1科目

《医学部》

- 外国語で『英語』のリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、次のとおり経過措置を講じます。なお、〔 〕内記載のものは、旧教育課程履修者のみ選択することができます。

数 (『数Ⅰ・数A』又は『旧数Ⅰ・旧数A』) 必須
(『数Ⅱ・数B』又は『旧数Ⅱ・旧数B』) 必須
理 (『物』, 『化』, 『生』) から2科目 又は [(『物Ⅰ』, 『化Ⅰ』, 『生Ⅰ』) から2科目]

《工学部》

- 理科について、基礎を付かない科目から2科目を受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。本学がこの表で指定する科目を第1解答科目として受験していない場合は、出願することができませんので、注意してください。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- 数学及び理科について、旧教育課程(平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した受験者に対しては、次のとおり経過措置を講じます。なお、〔 〕内記載のものは、旧教育課程履修者のみ選択することができます。

数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』, 『旧数Ⅰ』, 『旧数Ⅰ・旧数A』) から1科目
(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『工』, 『情報』, 『旧数Ⅱ・旧数B』) から1科目
理 (1)(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目
(2)[(『物Ⅰ』, 『化Ⅰ』, 『生Ⅰ』, 『地学Ⅰ』) から1科目] } (1)又は(2)

理科について、旧教育課程の科目から2科目を受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。(2)で指定する科目を第1解答科目として受験していない場合は、出願することができませんので、注意してください。